

塩害対策工に認識深める

親不知海岸高架橋を見学

〈福井県コンクリート診断士会〉



福井県コンクリート診断士会（石川裕夏会長）はこのほど、塩害対策工事が進められている北陸自動車道親不知海岸高架橋の現場見学会を実施した。

18人が参加。最初に発注機関である日本道路公団新潟管理局上越管理事務所の担当者から工事の説明を受けた後、工事現場に移り、実際に足場に登つて3工区を見学した。構造物の性能低下を予防するコンクリート補装工や防錆剤混入モルタルによる断面修復工、脱塩工といった保全対策が施されている橋りょう上部の底面や側面を各自真剣な面持ちで眺めていた。

石川会長は「今回勉強したことを補修工事の提案に生かしたい。今後も

18人が参加した
親不知海岸高架
橋現場見学会

実のある研修会を通しての資質向上に努めています」とコメントした。